

令和6年度入学 一般選抜後期日程

論説 講評

花の生産・流通・販売とフラワーロスを題材にした問題である。資料として、花と緑にかかわる事業活動に関する文章、フラワーロスとその原因に関する文章、二人以上及び単身世帯の切り花の購入金額の推移、コロナ禍が花の生産・流通・販売に与えた影響に関する文章、花や緑の医療と福祉への利用に関する文章、切り花購入におけるためらい理由と購入理由に関する調査結果などを提示した。これらの資料に基づく問いにより、与えられた資料に示されている情報や事象を読み取る力、読み取った事柄を簡潔かつ的確に文章化する力、指示された条件を把握したうえで、与えられた資料を論拠とし、課題解決のための提案を論理的な文章にまとめ上げる力をみることを主な目的とした。

問1

【出題のねらい】

(1) は、フラワーロスに関する解説資料から、三つの原因を読み取る問題である。(2) は、二人以上の世帯及び単身世帯の切り花の購入金額の推移の特徴を、二つの資料から読み取る問題である。各問とも、資料から必要な情報や特徴を正確に抽出し、読み取った事柄を簡潔かつ的確に文章化する力をみることをねらいとした。

【講評】

(1) の解答状況は、まずまずであった。資料の全体像を把握し、情報の優先順位付けによる抽出箇所の絞りこみ、生産・流通・販売の過程を理解した過不足のない表現の有無により、評価が分かれた。(2) では、解答状況はあまり良好ではなかった。局所的な特徴の抽出や、資料にない憶測による記述が散見された。完全に正答するためには、グラフ資料から読み取ることができる事象を的確に表現する力や、複数の資料を比較して考察する力が必要であった。

問2

【出題のねらい】

(1) では、資料中にある特定の事例を端的にまとめて解説することを、(2) では、資料中で紹介されている事象を、別の資料にある情報を論拠として解説することを求めた問題である。資料に記述されている事例に登場する者の立場や状況を理解し、論理的に説明する力をみることをねらいとした。

【講評】

(1) の解答状況は、まずまずであった。コロナ禍前の生産と流通の状況については、適切に読解できた受験者が多かった。生産状況を好転させた方法については、別の資料の内容をふまえた上で、の解答が必要であったが、資料の語句を断片的に引用するだけで、論拠が明確ではない解答が散見された。(2) の解答状況は、あまり良好ではなかった。資料に基づかない主観による解答、あるいはその記述が資料の内容のみに帰結するなど、問いに対する解答としては適切でないものが多数みられた。

問 3**【出題のねらい】**

指定した条件の下で、花の生産・流通・販売を担う立場から、消費者の購入を促す提案を求めた問いである。フラワービジネスの担い手の立場を理解し提案を発想する力、与えられた資料の内容を根拠としながら課題の提示を行い、発想した提案が効果的であることについて論理的に裏付けながら主張を展開する力をみることをねらいとした。

【講評】

解答状況は、まずまずであった。消費者側の立場のみに留まった提案をしている解答が多かった。しかし、このような解答は、フラワービジネスの担い手側から消費者の購入を促進させる提案を求めた出題趣旨に即していない解答であるとみなした。冷静に、問いの趣旨を理解した上で解答することに努めてほしい。一方で、課題の発掘・提案・提案の及ぼす効果の三段階から成る論理展開の中で、一貫性を維持できている解答は高評価につながった。